

第3期 子ども一貫教育基本計画 【ガイドマップ】



もくじ

- ・ 基本的な考え方 2
- ・ 豊かな心の育成 3
- ・ 健やかな体の育成 4
- ・ 確かな学力の育成 5
- ・ キャリア教育 6
- ・ ジオパーク学習 7
- ・ 特別支援教育 8

－第3期のポイント－

- ◎人とのかかわりやふれあい、自分に自信をもつこと（自己肯定感）の回復を重視しています。
- ◎いじめの防止や対応、子どもの居場所づくり、愛着形成などの今日的課題や時代のニーズを考慮しています。

令和6年4月

糸魚川市
糸魚川市教育委員会



基本的な考え方

これまでの経緯と前基本計画の成果・課題

	平成21年度	平成22年度	平成23年度～平成27年度	
第1期	子ども一貫教育方針策定	子ども一貫教育基本計画策定	中学校区単位での取組	
第2期	平成26年度	平成27年度	平成28年度～令和元年度	令和2年度～令和5年度
	子ども一貫教育方針策定	子ども一貫教育基本計画策定	前期取組 平成30年度アンケート実施 平成31年度計画の改善・修正	後期取組 令和4年度アンケート実施 令和5年度計画見直し
第3期		令和5年度	令和6年度～令和9年度	令和10年度～令和13年度
		子ども一貫教育基本計画策定	前期取組 令和8年度アンケート実施 令和9年度計画の改善・修正	後期取組 令和12年度アンケート実施 令和13年度計画見直し

<成 果> ○幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携が着実に進んでいる。

○「早寝早起きおいしい朝ごはん」運動が定着してきている。※

※令和4年度までの全国学力・学習状況調査結果より

○学校生活を楽しく送っている子どもが多い。※

○地域の行事に参加する子どもの割合が全国平均よりも高い。※

○学校の授業におけるPC・タブレットなどのICTの使用が浸透している。※

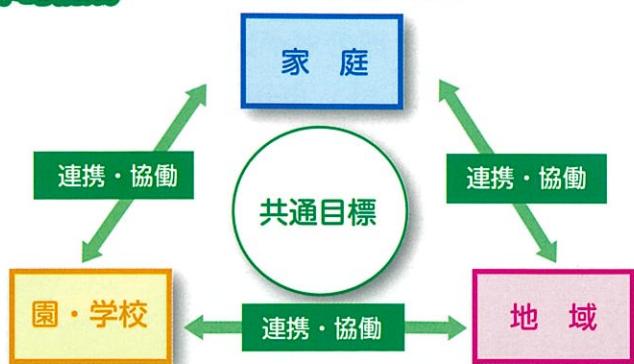
<課 題> ●基礎学力と望ましい生活習慣の定着を目指して、学校、家庭がさらに連携する必要がある。
 ●家庭、地域、園・学校が連携・協働により道徳性と社会性を育んでいく必要がある。
 ●子ども一貫教育について市民への説明を十分行い、当事者意識を高める必要がある。
 ●子育てへの不安やストレス、学力面への心配に対応する必要がある。

目指す方向性

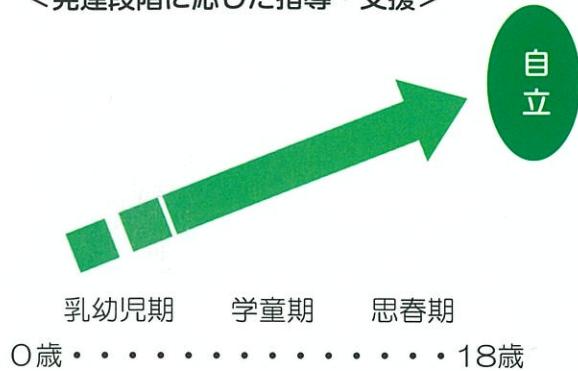
	項目	目指す方向（育てたい力や支援体制）
3つの柱	豊かな心	自己肯定感があり道徳性や社会性をもつ子どもの育成
	健やかな体	健康を自己管理できる力の育成
	確かな学力	主体的に学び続ける力の育成
教育重要な活動	キャリア教育	自分への自信（自己肯定感）と、糸魚川への愛着を高める子どもの育成
	ジオパーク学習	体験、学習活動を通した、ふるさと糸魚川への愛着の形成
	特別支援教育	自立と社会参加を目指した、とぎれない支援の推進

基本的構成

<三者の連携・協働>



<発達段階に応じた指導・支援>



三者の連携・協働により、子どもの「自立」を目指します。

協働とは、目標や役割を共有、共通理解し共に考え行動することです。



豊かな心の育成

□指導の重点
・実践例

歳	特性	家 庭	園・学校	地 域
0歳～3歳	信頼・自律性	愛着形成 <ul style="list-style-type: none"> 愛情たっぷりなスキンシップの子育てをする 温かい言葉かけをする 絵本、歌のある子育てをする つながりのある子育て <ul style="list-style-type: none"> 親子で散歩、屋外で遊ばせる 	信頼感の育成 <ul style="list-style-type: none"> 安心して自分を表せるようにする 興味のあることを支援 身の回りの活動支援 	子育ての伝承 <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの周知 子ども同士、親同士交流 子育て支援センターの相談会案内、広報活動 公民館行事での交流
4歳～6歳	自律性・自主性	愛着形成から自己肯定感の育成 <ul style="list-style-type: none"> 家庭でいさつを習慣化する 子どもの声に耳を傾ける よいこと悪いことを教える 生活リズムを定着させる じゃれつき遊びをする つながりのある子育て <ul style="list-style-type: none"> 親子でジオパークを楽しむ 	伝えあう力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 元気ないいさつをさせる 情操の育成 <ul style="list-style-type: none"> 絵本、音楽、造形遊びをさせる 生き物と楽しく遊ばせる 判断力の芽生え <ul style="list-style-type: none"> 遊びをとおして、してよいことといけないことに気付かせる 	子育てネットワークづくり <p>(家庭、地域、園・学校が一体となって)</p> <ul style="list-style-type: none"> 温かい声かけ 地域でいさつ運動 地域の伝統行事への参加 遊び場の整備 公民館行事での交流
7歳～9歳	勤勉性（前期）	家庭における温かい絆づくり <ul style="list-style-type: none"> 自然の中で体験活動 自分のことは自分でさせる 基本的生活習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> 「早寝早起きおいしい朝ごはん」 家族で約束「わが家のルールづくり」 (電子メディアとの付きあい方など) 地域とのつながり <ul style="list-style-type: none"> 親子で地域の行事に参加する 	基本的な礼儀や伝えあう力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 明るいいさつや返事について家庭や地域と連携した取組 規範意識や善悪の判断力の育成 <ul style="list-style-type: none"> きまりの必要性を教える いじめをしない、見逃さない、他者を傷付けない人権意識の育成 いじめをしない、見逃さない、他者を傷付けない人権意識の育成 <ul style="list-style-type: none"> いじめや差別をしてはいけないことを教える 豊かな情操の育成 <ul style="list-style-type: none"> 感動する心、創造力、読書活動、体験活動 	地域で育む社会性・道徳性の基礎 <ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみのいさつ運動 大人が見本を示す 子どもに役割をもたせる 学校支援活動等の推進 <ul style="list-style-type: none"> 環境整備、登下校見守り 授業やクラブ活動への協力 地域の交通安全運動の実施 社会教育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> 青少年活動プログラムで子どもを育む
10歳～12歳	勤勉性（後期）	家庭における温かい絆づくり <ul style="list-style-type: none"> 家庭での役割、責任をもたせ、温かく見守る 基本的生活習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> 家族ぐるみで規則正しい生活リズムを実践する 家族で約束「わが家のルールづくり」 (電子メディアとの付きあい方など) 地域とのつながり <ul style="list-style-type: none"> 親子で地域の行事に参加する 	基本的な礼儀や伝えあう力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 明るいいさつや返事について家庭や地域と連携した取組を行う 自己肯定感、思いやりの心、人間関係を築く力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 集団の中での役割、責任 いじめをしない、見逃さない、他者を傷付けない人権意識の育成 <ul style="list-style-type: none"> いじめや差別をしてはいけないことを教える いじめ見逃しぜロスクール集会への主体的な取組 豊かな情操の育成 <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞、音楽祭、読書活動、体験活動 	
13歳～15歳	同一性（前期）	自立への支援 <p>(子どもと向きあう時間の工夫により)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の会話を大切にする 親子で一緒に情報モラルを学ぶ 放任と過干渉はやめる 仕事のやりがい、苦労を伝える 親が手本、教え伝える社会のルール <ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティア、行事への参加 人権意識と思いやりのある言動 社会の一員としての自覚を促す 	人間関係を築く力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 自動的な取組の推進 ボランティア、地域貢献 読書の奨励 いじめをしない、見逃さない、他者を傷付けない人権意識の育成 <ul style="list-style-type: none"> 道徳性の育成、人権意識 生命尊重、規範意識の醸成 	子どもの社会性・道徳性の育成 <ul style="list-style-type: none"> 子どもが参画できる行事 郷土の伝統文化を継承 学校支援活動などの推進 <ul style="list-style-type: none"> 環境整備、登下校の見守り、授業やクラブ活動への協力 交通安全運動への協力
16歳～18歳	同一性（後期）		人間関係を築く力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動、地域貢献活動 いじめをしない、見逃さない、他者を傷付けない人権意識の育成 <ul style="list-style-type: none"> 法やルールの意義や遵守する意味の理解 	地域社会の一員としての自覚と責任 <ul style="list-style-type: none"> リーダーとして活躍できる場を設定 地域でのいさつ運動、交通安全運動への参加 郷土の伝統文化の継承

*表の成長時期における「特性」は、E・Hエリクソンの「心理・社会的発達段階理論」(村井潤一編「発達の理論をきずく」別冊発達4 ミネルヴァ書房)より一部引用したものです。



健やかな体の育成

□指導の重点
・実践例

歳	特性	家 庭	園・学校	地 域
妊娠期～3歳	基本的信頼・自律性	愛着形成と基本的生活習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの定着 ・添い寝、子守唄、読み聞かせ ・電子メディアに子守をさせない ・家族でおいしい朝ごはん ・親子でじゃれつき、ふれあい遊び 	健康教育・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズム定着への働きかけ ・園と家庭が協力した電子メディアのルールづくり ・望ましい食習慣を知らせる ・自然の中で体を動かす体験 ・戸外に出て体を動かす体験 ・体の機能、バランスが育成される遊び 	安全・安心の環境づくりと子育て文化の伝承 <ul style="list-style-type: none"> ・自然に触れて遊べる場の整備 ・雨の日も遊べる場の提供 ・地域行事への参加の呼びかけ ・昔の遊びを伝える ・育児相談、手助けへの配慮 ・地域の親子に言葉かけ ・地域の食材を利用した伝統料理の紹介
4歳～6歳	自律性・自主性	愛着形成と基本的生活習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身に付けさせる ・家庭でバランスのよい朝ごはん ・電子メディアを使う場合は、ルールを決め、親子でルールを守る ・親子でじゃれつき遊び、戸外での体を動かした遊び 	健康教育・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・健康教室への参加や教材の活用 ・園と家庭が協力した電子メディアのルールづくり ・参観、懇談、便りで保護者に啓発 ・好き嫌いせず食べることを教える ・体験の場の提供 	
7歳～9歳	勤勉性(前期)	愛着形成と基本的生活習慣づくり <ul style="list-style-type: none"> ・家族そろって食事 ・21時30分までに布団に入る ・9～11時間の睡眠時間を確保 ・親子で一緒に体を動かす ・地域の行事に家族ぐるみで参加 ・親子で電子メディアのルールづくり ・電子メディアを上手に使える力の育成 	健康教育・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝早起きおいしい朝ごはん」の習慣化 ・電子メディアが心身に与える影響の指導 ・家庭でのルールづくりの支援 ・地産地消や栽培活動の推進 ・遊びや授業で体力向上 	安全・安心の環境づくりと子育て文化の伝承 <ul style="list-style-type: none"> ・遊び場所の環境整備 ・地域行事への参加 ・地域の特産物や伝統料理 ・社会教育・スポーツクラブの指導者、支援者としての協力
10歳～12歳	勤勉性(後期)			
13歳～15歳	同一性(前期)	自己肯定感の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の中で安心して話せる雰囲気づくり ・うまくいっていることをほめる ・大切な家族の一員としての自覚 生活リズム・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝早起きおいしい朝ごはん」の継続 ・生活リズム維持の働きかけ ・8～10時間の睡眠の確保 ・電子メディアとのかかわりの見守り、指導 ・SNSなどの使用時の正しいルール ・人権尊重の意識をもった電子メディアの利用 	健康教育・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・1日の計画表の作成、実践、見守り、指導 ・授業、部活動、遊びで体力向上 ・体力テストの分析と指導改善 ・性に関する指導、心、飲酒、喫煙、薬物乱用防止教育 ・電子メディアとの過度なかかわりによる健康被害について教える ・人権尊重の意識をもった電子メディアの利用 	安全・安心の環境づくりと子育て文化の伝承 <ul style="list-style-type: none"> ・運動、文化、奉仕活動 ・親子、異世代で交流 ・地域で目配り、気配り
16歳～18歳	同一性(後期)	自己肯定感の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや将来のことを話せる雰囲気づくり 生活リズム・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの維持と健康自己管理 ・8～10時間の睡眠の確保 ・電子メディアとのかかわりの見守り、指導 ・SNSなどの使用時の正しいルール ・人権尊重の意識をもった電子メディアの利用 	健康教育・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠、食事、運動のバランス ・食事と体の成長について指導 ・授業、部活動で体力向上 ・性に関する指導、心、飲酒、喫煙、薬物乱用防止教育 ・電子メディアとの過度なかかわりによる健康被害について教える ・人権尊重の意識をもった電子メディアの利用 	安全・安心の環境づくりと子育て文化の伝承 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、文化、奉仕活動などの計画 ・企画、運営面での参加 ・親子、異世代で交流を図る行事の計画